

政治学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
101	政治学演習 (縣公一郎)	通年	3年以上：4単位	縣 公一郎 政政・経演・国演

副 題
Subtitle

公共政策研究

授業概要
Course Description

今日の社会生活で、政府活動の影響はあらゆる分野に及んでおり、私たちは政府活動との関連なくして一刻も生活を営めない、と言って過言でないだろう。従って、社会的諸関係構築のための戦略、計画、プログラム、個々の意思決定、具体的活動としての公共政策を通じて、政府が、なぜ如何なる行為を如何にして社会にもたらしているのかという点は、現代社会において問うべき重要な課題だろう。

本演習は、かかる政府活動の分析で基礎となる手法の学修と、その応用を目指すものである。

3年次春学期は、公共政策関連の内外文献を用いた報告や他大学との合同ゼミに向けた共同研究で基礎学修を進めつつ、各人の個別テーマ確定に努める。

3年次秋学期以降は、設定された個別テーマに関する研究と報告を経て、最終的にゼミナール論文を作成する。各人が研究対象とする国ないし地域（例えば、首都圏、日本、ドイツ、EU等）と、採り上げる政策領域（例えば、マルチメディア、通商産業、学術教育、国土、医療、農業、環境、交通、都市、労働等）もしくは政府・行政機構を、ある程度明確に設定しておいて頂きたい。その際、国際的枠組（例えば、ドイツのテレコム政策ならEU、日本の通商産業政策ならWTOや対米関係）を十分に意識してほしい。原則として3年と4年は別々の会合を持つが、相互に交流を図るため、火曜日 限と 限をゼミナールの共通時間として確保して頂きたい。

授業の
到達目標
Objectives

各人のゼミナール論文完成。

授業計画
Course Schedule

第1回：ガイダンス
第2回 - 第28回：学生による報告・討論
第29回 - 第30回：ゼミ論総括報告

教科書
Textbook(s)

参考文献
Reference Book(s)

評価方法
Evaluation

	割合 (%) Percent (%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	%	
平常点評価 Class Participation	40 %	共同研究への貢献と日常的発言。
その他 Other	60 %	ゼミナール論文。

備 考
Note

関連URL
URLs for References

<http://www.pprs-waseda.com/>